

ゴール 新聞を読んで考えたことを文にまとめよう。

○ 次の新聞を読み、記事からわかる事実を簡潔にまとめ、その感想と意見を区別して書きましよう。

ごみ排出量世界一の日本がすべきこと

日本の一年間のごみ排出量は約4500万トンで、これを一人一日あたりに換算すると、約一キログラムとなり、不名誉な世界一となっています。

日本では排出されたごみのほとんどが焼きやく処理されています。燃やすことによりごみは減りますが、ダイオキシンといった猛毒に形を変えて、水質汚染など別の環境問題につながっていると言われています。

それでは私たちに何ができるでしょうか。「3R」(リールール)が、ごみを減らすキーワードです。Rで始まる3つの言葉、「リデュース」「リユース」「リサイクル」を推進することで、ごみを減らすことができます。

一つめは「リデュース」。「ごみを減らす」という意味で、つめかえ商品を買ったり、買い物にエコバッグを使ったりすることで、ごみを減らすことができます。

二つめは「リユース」。「くり返し使う」という意味で、飲みもののびんを回収して再度使ったり、使えるものは修理して使ったりすることでごみになりません。

三つめは「リサイクル」。「再資源化する」という意味で、新聞紙やペットボトルなどを回収して、新たな製品の原料とすることでごみを減らし、資源も節約できます。

私たちの地球は、私たちが守らなければなりません。始めてみませんか、地球のためにあなたができること。

※この記事は、ワークシートのために作成したものです。

【事実】

【感想】

【意見】

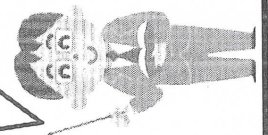
まとめると、

事実… 現実にあること。実際にあったこと。

感想… あるものことについて、感じたり思ったりしたこと。

意見… あるものことについて、自分の考えや判断したこと。

です。



ふりかえり

・新聞記事から事実をぬき出すことができた。()

・新聞記事の内容に対して、自分の感想と意見を区別して書くことができた。()

書・12 事実と感想、意見を区別して段落や構成を考えて書く。

ゴール 何が書いてあるのかをくわしく読んでみよう。

A ゾウの一番のとくちようと言えば、自由に動かせる長い鼻です。ところが、ゾウのそ先の鼻は短かったそうです。なぜゾウの鼻は長くなったのでしょうか。

B およそ五五〇〇万年前ごろのゾウのそ先は、モリエテリウムとよばれていました。体の大きさはアタくらいで、鼻も長くなかったそうです。ほとんど水の中で生活し、水草などを食べていたと考えられています。やがて、森やサバンナの中にくらすようになり、てきから身をまもるために、体が大きくなっていきました。大きな体をささえるために、足は太く長く、首は短くなってきました。そのため、地面に顔を近づけて水を飲んだり、食べ物を食べたりするのがおずかしくなり、上くちびるが発達して、だんだんと今のゾウのような鼻になってきたと考えられています。

C ゾウの鼻には、ほねがありません。ほとんどきん肉で、できています。人間と同じようにこきゅうをしたり、鼻で水をすい上げ飲んだり、体に水をかけたりします。また、重たい丸太を持ち上げたり、小さな物をつまんだり、人間があくしゅをするように鼻をからませてあいさつをしたりします。

D また、ゾウの体にはさまざまなくふうがされています。あせをかくきのうが発達していないゾウは、体温が高くなると、大きな耳をバタバタと動かします。あみ目のような血かんがたくさんあつまっている耳を動かすことで、血かんをひやして体の熱をにがしているのです。そのため、あつところにするアフリカゾウのほうが、インドゾウよりも大きな耳をもっています。また、体中にあるしわは、水あびをしたときに、そこに水をためて、皮ぶがかんそうするのをふせいでいます。

E このように、ゾウは生きるために、かんぎょうに合わせて、鼻をのばし、耳を大きくしてきたのです。

参考文献より作成

小宮輝之 かんしゅう 「動物のふしぎ」

カー・ウータン ちよ 「ゾウの本」

ふりかえり

- ・ 問いと答えのだん落の関係を読み取ることができた。 ()
- ・ だん落に書いてある事れいを読み取ることができた。 ()
- ・ だん落を短くまとめて小見出しを書くことができた。 ()

○ 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

一 Aのだん落は、問いを表すだん落です。その答えになっているだん落は、BからEのどのだん落でしょうか。書きましよう。

Blank box for answer 1

筆者が、言いたいことをまとめているだん落をさがすといよ。



二 Cのだん落には、ゾウの鼻の使い方が書いてあります。それらの鼻の使い方の中から、三つえらんで書きましよう。

Three stacked blank boxes for answer 2

ならべて書いてあることをながしてみるといいですね。



三 Dのだん落を短くまとめて、小見出しをつけましよう。Dのだん落に書いてある言葉を使って、小見出しを書きましよう。

Blank box for answer 3

このだん落で筆者が、伝えたいことはどんなことか考えましよう。

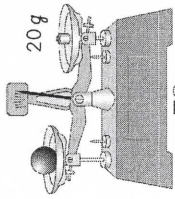


読 8 だん落に小見出しをつけ、それぞれの関係をとらえる。

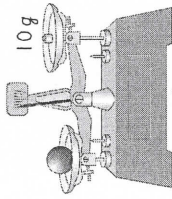
| | | |
|---|---|----|
| 年 | 組 | 名前 |
|---|---|----|

1 上皿てんびんと分銅を使って、いろいろな物の重さを調べています。たかしさんは、赤、青、黄、緑、黒の5つの球の重さをはかり、その結果を右のように紙に記録しておきました。ところが、どの色の球がどの重さなのかわからなくなってしまうました。そこで、たかしさんは、黒の球の重さをもう一度調べるために、3つの実験を次の順番で行いました。

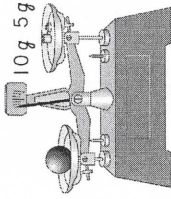
- 9 g
- 13 g
- 15 g
- 17 g
- 24 g



【実験①】はじめに、左の皿に黒の球をのせて、右の皿に20gの分銅を1つおきました。すると、図①のようになりました。



【実験②】次に、右の皿に20gの分銅のかわりに、10gの分銅を1つおきました。すると、図②のようになりました。



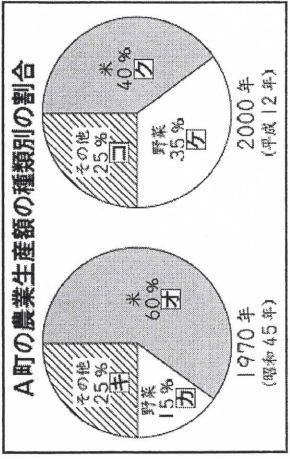
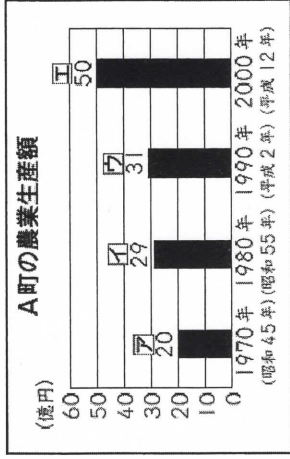
【実験③】さらに、右の皿に5gの分銅を1つ加えました。すると、図③のようになります。たかしさんは、実験①、実験②について、下のように表にまとめました。

| | 黒の球の重さについて 実験からわかったこと | 黒の球の重さとして 考えられるもの |
|---------|--------------------------|----------------------|
| 実験① | 20gより軽い | 9g, 13g, 15g, 17g |
| 実験①と② | 10gより重く20gより軽い | 13g, 15g, 17g |
| 実験①と②と③ | ア | イ |

表の続きをまとめます。実験①と②と③について、上の表の「ア」と「イ」に入る言葉や重さを書きましょう。

| | |
|---|---|
| ア | イ |
|---|---|

2 ひろしさんが住んでいるA町の農業生産額について、下の2種類の資料を使って調べます。棒グラフは、農業生産額を1970年から10年ごとに表しています。円グラフは、1970年と2000年の農業生産額の種類の割合を表しています。



(1) 上のように、棒グラフと円グラフに表された生産額や割合に、アからコまでの記号を付けました。

A町の2000年の野菜の生産額を求めるためには、資料の中のアからコまでのうち、どれが必要ですか。アからコまでの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。

答え

と

(2) 次は、米について考えます。

A町の1970年と2000年の米の生産額について、ひろしさんは、右のように言いました。ひろしさんの言っていることは、正しいですか。「正しい」か「正しくない」かのどちらかを○で囲みましょう。また、そのわけを、言葉や式を使って書きましょう。

米の割合が、60%から40%に減っているから、米の生産額は、減っています。

ひろし

| | |
|-------|---------|
| 「正しい」 | 「正しくない」 |
|-------|---------|

わけ